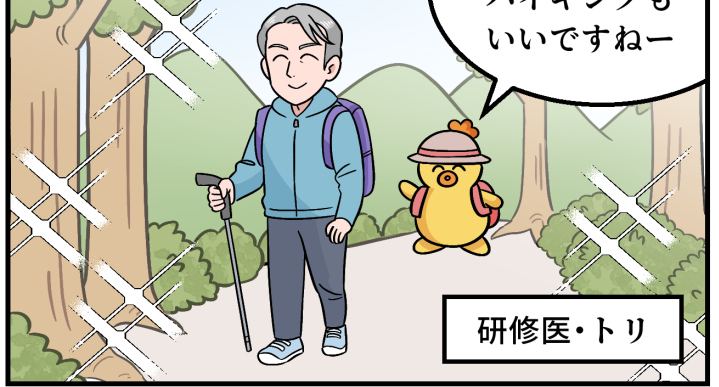


手術と建築との共通点



胸壁外科医・永竿教授

たまにはハイキングもいいですねー



研修医・トリ

じー

教授、あっち見て見て！



けしき、いいですよ

なにを見てるんですか？

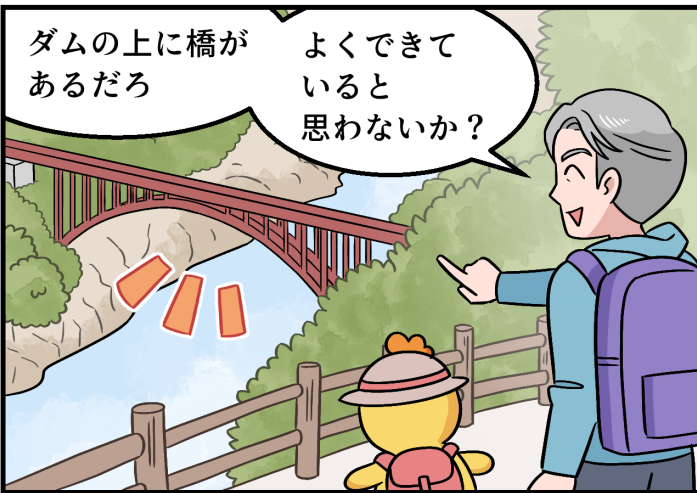
けしきいいのに



あれを見てごらん

ダムの上に橋があるだろ

よくできていると思わないか？



いやー見事だ

ぼくは先にゆきますよ

付き合いきれんわ



翌日…

教授、きのうはどうしたんですか？

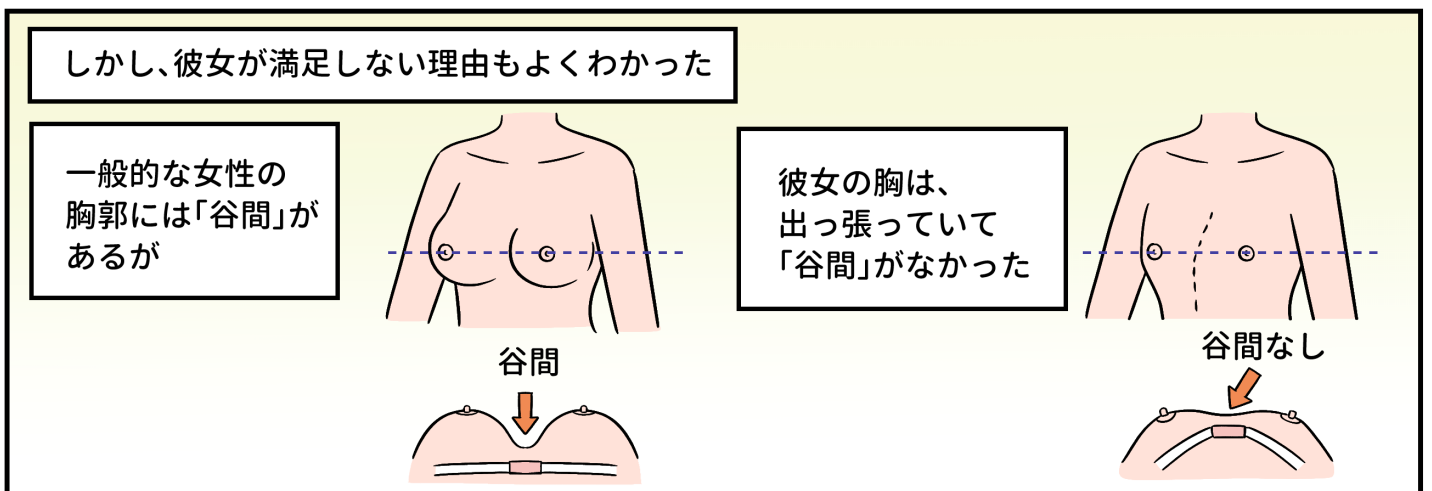
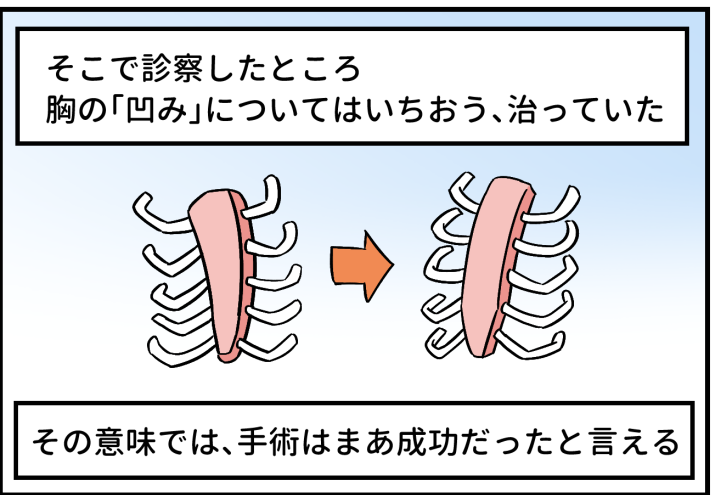
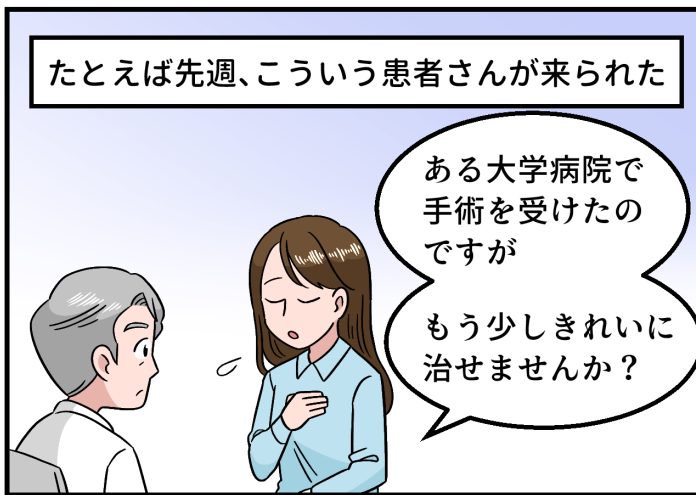
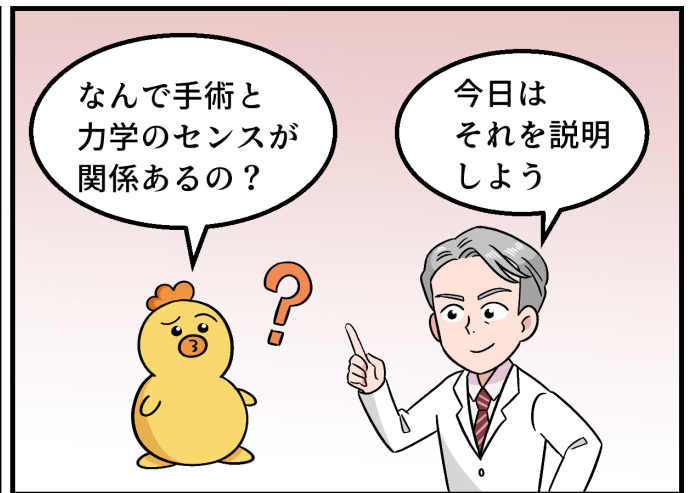
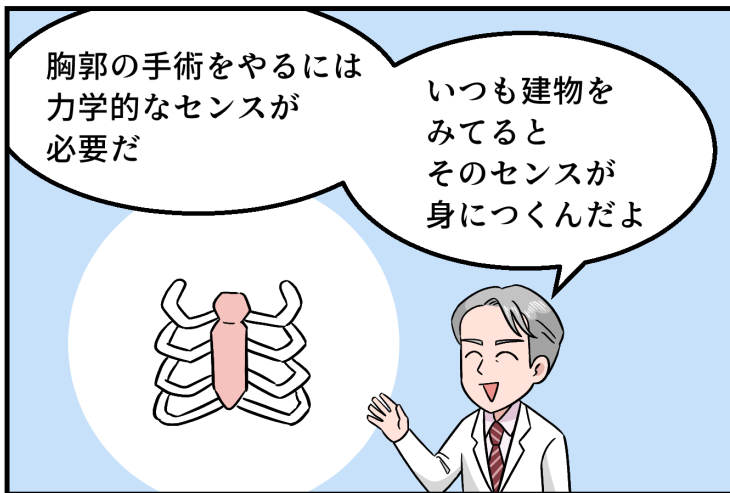
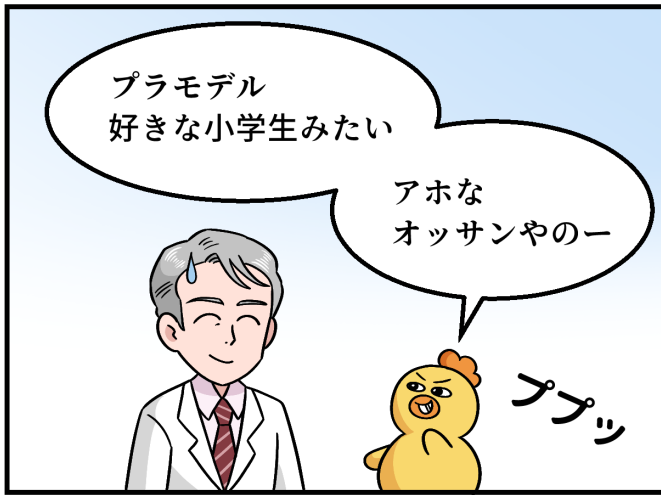


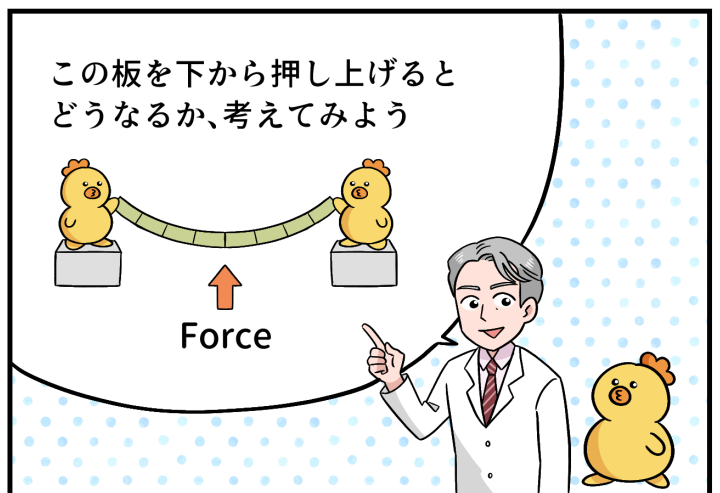
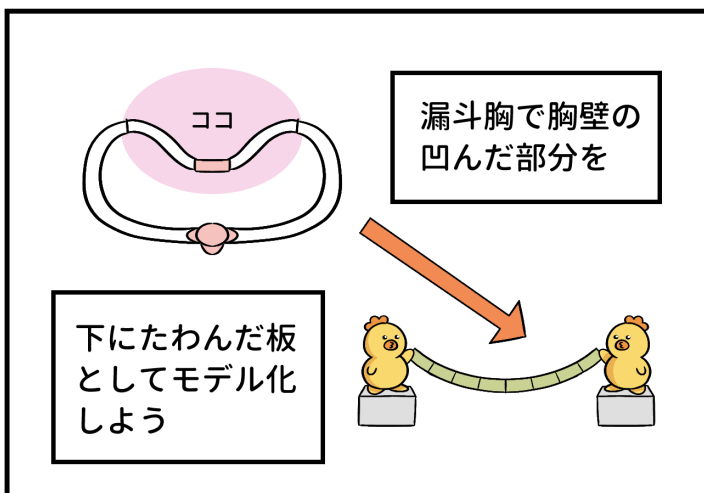
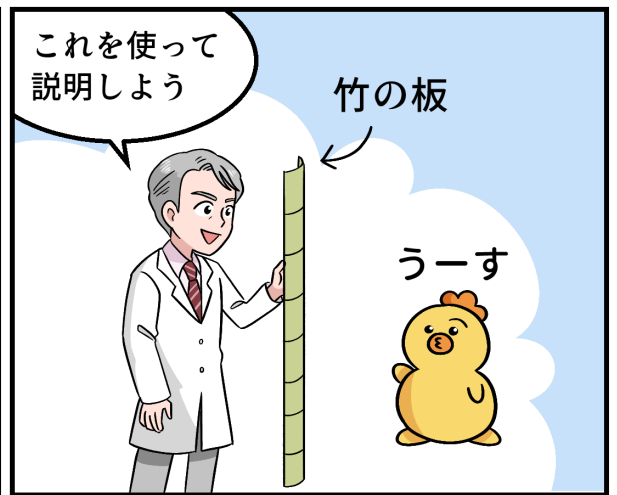
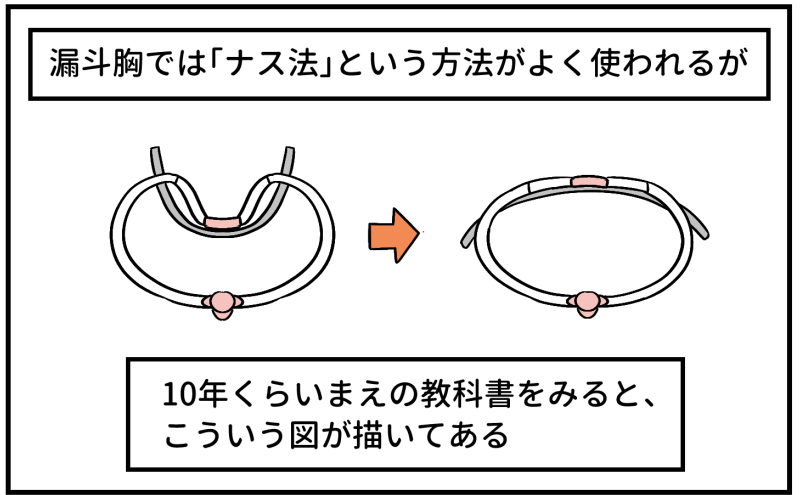
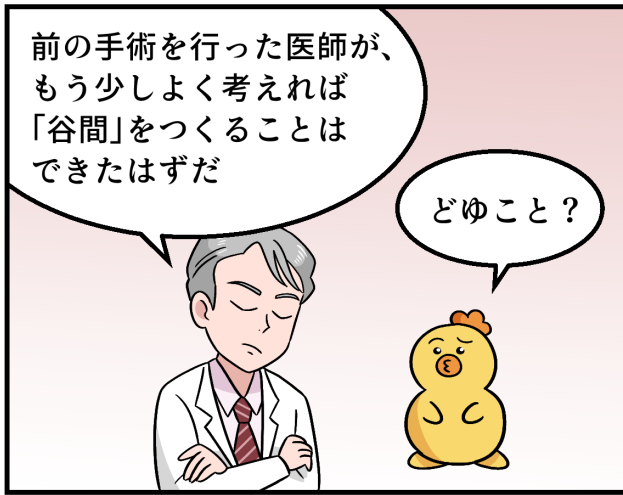
山へ行ってもけしき、ぜんぜん見ないで



ぼくは、ビルや橋・船などを見るのが大好きなんだ







これが

うーん

そうはならない気がします

こういう風に、平らになるだろうか

そのとおり
板の長さ(La)は両者の直線距離(Lb)より長い

だから、板は平らにはならない

実際におこる変化は

こうなるはずなんだ

だから、さっきの図は間違っていて

胸壁は、上に凸になるはずだ

さきほどの女性の結果がいまひとつなのも

出っ張り

つまりはこの「持ち上げ過ぎ」が原因だ
これを「鳩胸(はとむね)変形」という

もしもぼくが手術をやっていたとしたら
まずは、余分な軟骨を取り外したろう

取り外す

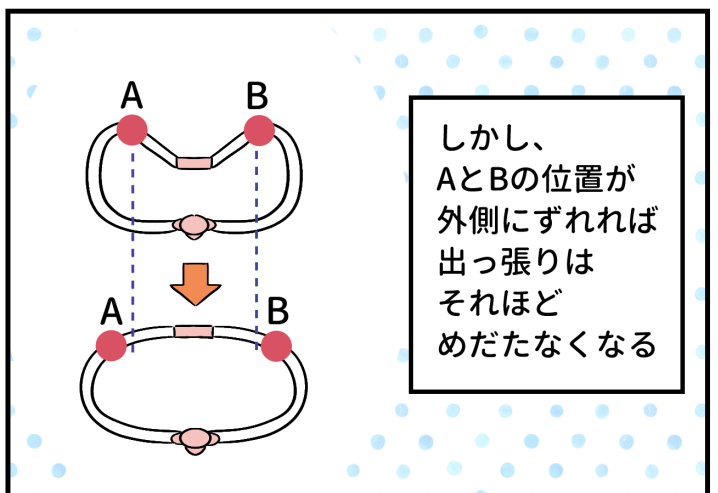
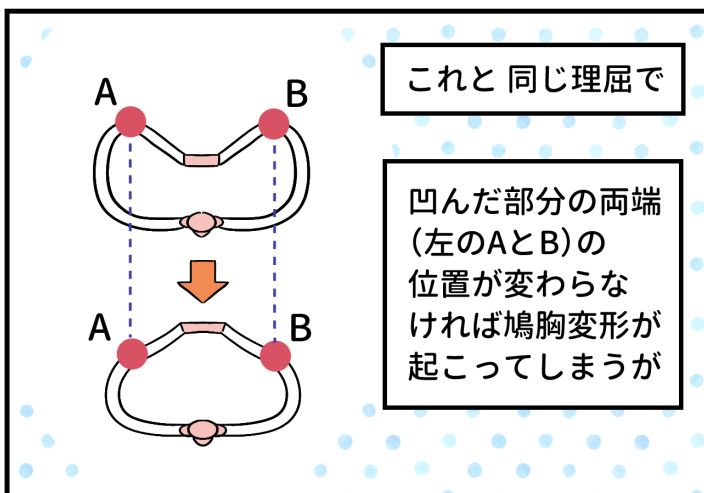
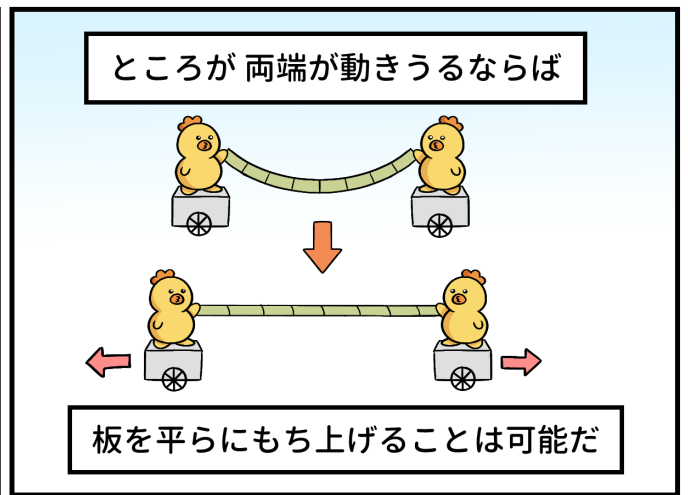
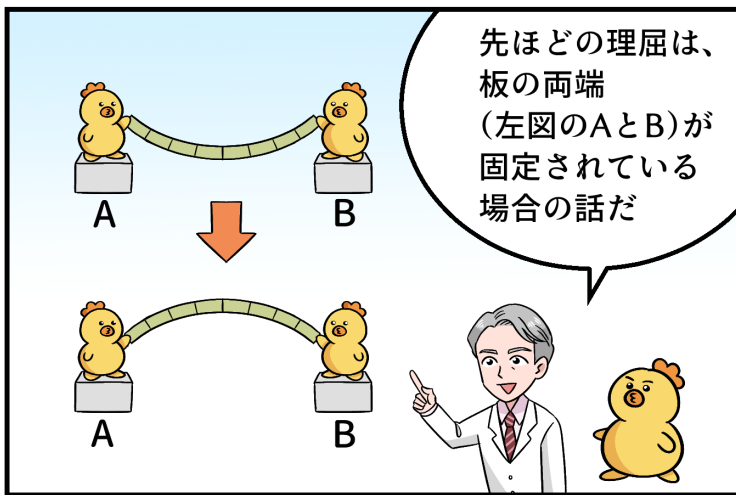
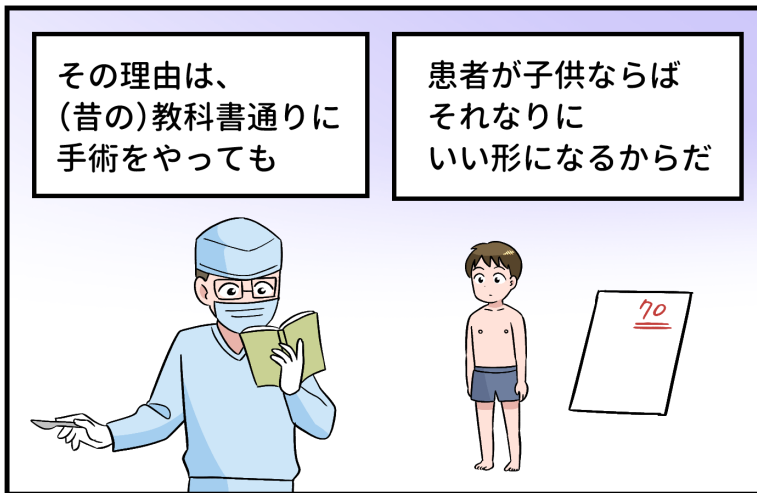
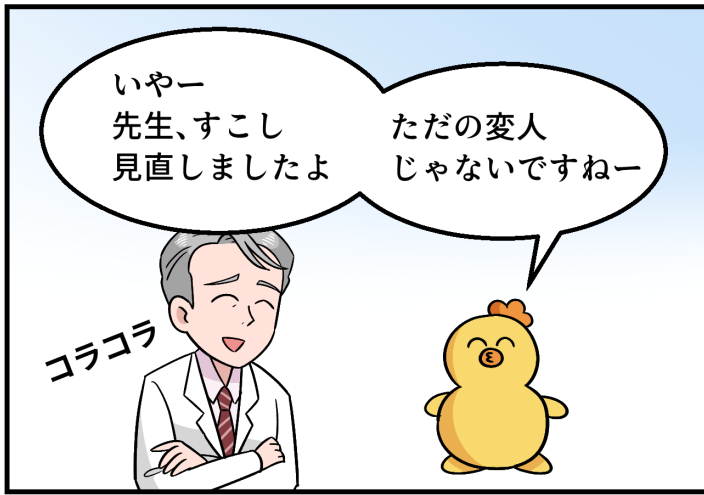
そのうえで胸壁を持ち上げれば

きれいな輪郭になったはずだ

そうすれば
きれいな輪郭になるから、
彼女も満足したろう

谷間

なるほど～



なんでAとBは外にずれちゃうの？

アリみたいに動いて行っちゃうの？

そういうわけではない。胸郭が外側に「開く」のだ

どゆこと？

このように肋骨が外側に回転するということ

胸郭は肋骨が組み合わさってできている

そして肋骨どうしは靭帯と筋肉でつながっている

靭帯と筋肉

こどもは大人より体が柔らかい。これは、靭帯と筋肉が柔軟性に富むからだ

child adult

こどもでは、靭帯の柔軟性が高いから、骨同志がお互いを束縛しない

そのため、肋骨の自由度が高い

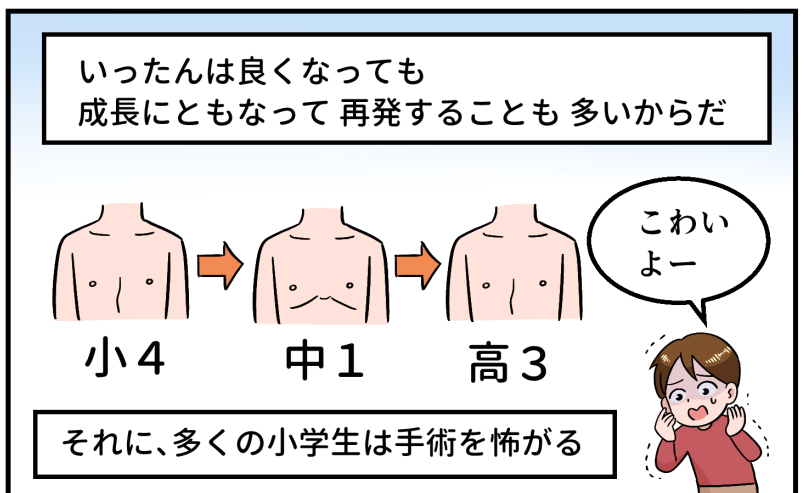
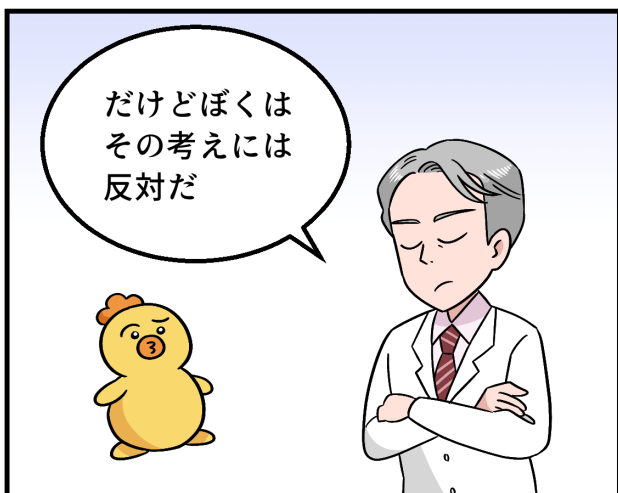
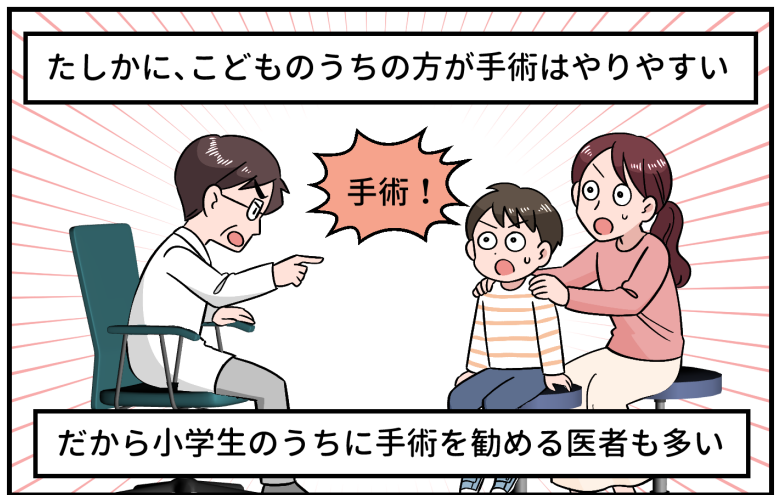
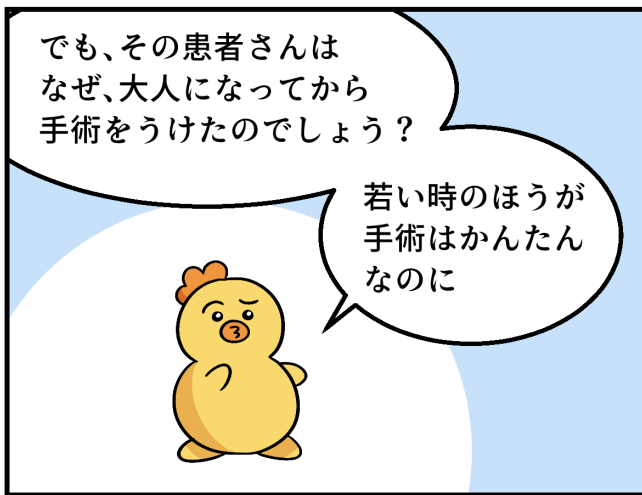
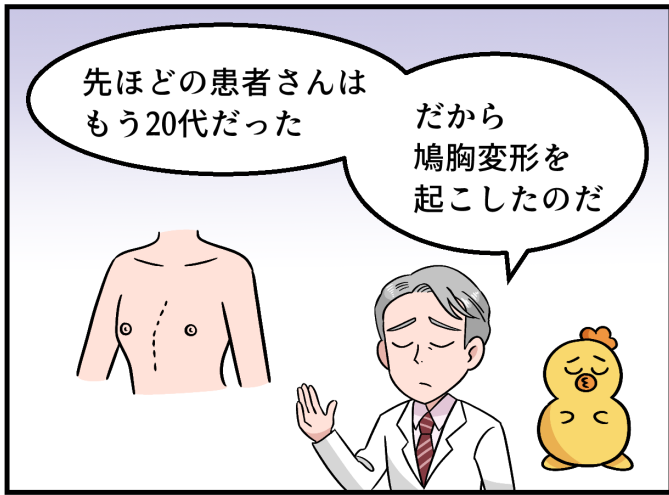
つまりこどもの患者さんでは肋骨が動くことで胸壁の「ひずみ」が緩衝される

だから、あまり凝った手術をしなくても、まあまあの形になるんだよ

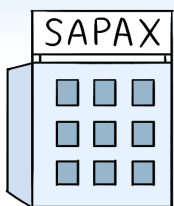
反面、大人の場合には靭帯が硬いから骨が動きにくい

そのため胸壁の「ひずみ」は吸収されず変形が目立ってしまうんだ

出っ張りすぎ



それに、最近の小学生は
受験をするから



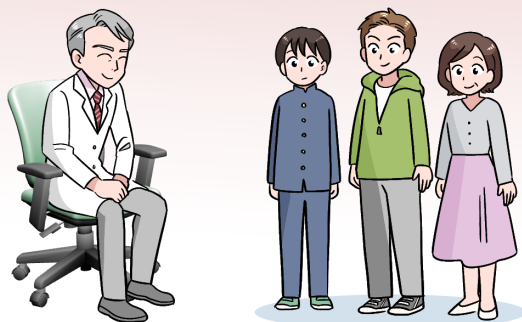
むしろ中学に入ってからのほうが
時間をとりやすい

もっとも、中学や高校で
ふんぎりがつかず

社会人になってから
手術を決意する
ケースも多い



患者さんの年齢と性別は本当にさまざまだ

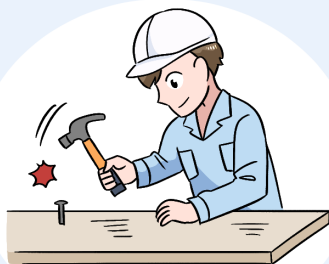


良い結果を出すにはその人に合った
手術法を考える必要がある



Plan 1
or
Plan 2?

他の分野の職人芸を見ているとヒントに
なる「技」がよく見つかるんだよ



おおっ！

ようするに、外科医も
職人だからね



なるほどー



よく
わかりました

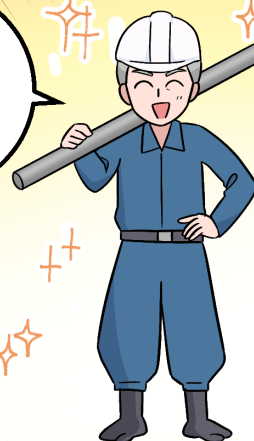
というわけで
ぼくは
出かけるよ



どこに
でかけるの？



今日は
とび職の
仕事を
見学する



トリ君も
一緒に
来ない？

つきあい
きれんわ

